

新人&ベテラン キャストが語る 映画の撮影現場

演技経験がなくても、映画に出演できる！ ミライ・アクターズ・プロモーションが、オーディションで抜擢した新人が次々とスクリーンデビュー中。最新作『Familie(ファミーユ)〜フランスパンと私〜』中。最新作『Familie(ファミーユ)〜フランスパンと私〜』(TWILIGHT FILE V)シリーズ第5弾、第3作では、新人の本山由美さんがヒロインに大抜擢され、海外ロケにも参加した。果たしてどんな現場だったのか、キャストの声を届けます。

新人&ベテランが共演 先輩俳優を刺激!

神品「みなさん、本作ではどんな役を演じていらっしゃいますか？」
小木「佐伯新太郎役の小木茂光と申します。ヒロイン小夜の継父で、現代社会に非常にはまっている、カネにまみれた人間です(笑)」
萩原「私が演じる風間亮は、若い頃はフランスでパン職人をしていただけで、娘を捨てて日本に泥棒になってしまっ。そして、運命のイタズラで捨てた娘に再会するという役柄です。芝居的には、過去を悔いる泥棒としての非常にシリアスな部分、フランスで演じる20年前の風間亮、そして20年後に娘と再会してから素の自分と、変幻自在に演じているつもりです」
本山「佐伯小夜の本山由美です。風間トオルさん演じるパン屋さんでアルバイトをしている女子大生なんですけど、自分の言いたいことはズバズバ言うし、好き嫌いが激しい典型的なB型の女の子です。自分が実は養子だと知ったときに心が揺れて、そこで萩原さんが演じる泥棒のおじさんに逢って打ち解けていく。そこをしっかりと演じようと思っています」
萩原「本山君と僕のシーンは長回しが多いんですけど、僕の芝居に食らいついてくるんですけど、なかなかいい根性をしているな。また18歳、高校を卒業したばかりなのに、こんなしっかりしている若い子もいるんだな、と楽しんでます」



(左より)神品プロデューサー、坂口貞子さん、坂口杏里さん

ただ「僕も俳優になろうと思ったことは一度もないんです。大学浪人中、友だちに誘われて行ったオーディションをきっかけに、気が付けば55歳という(笑)。この年で転職できないで続けたんですよ。特に舞台の稽古は99%ついて。だけど、瞬の1%の喜びのために生活や人生をかけてやっています。若い子に言いたいの、青春の思い出しようなんて甘い根性じゃあ役者にはできないというところ。オーディションに来て、給料や休日やテレビに出られるのかを聞くような人は結構ない。本当に芝居が好きかどうかを確かめるために、すべての仕事を死ぬ気で頑張るって、長く続けるしかない。生半可にできないんですよ。だから、こうやってお芝居を目指している人たちのためにドラマが増えてほしい。若い人たちが突っ走って頑張る、世の中の興味をお芝居に向かわせてほしい。そういう意味でも、萩原さんがおっしゃったように、すぐに映画やテレビに出られる、という気持ちには極力ならず、ひとつひとつ基礎を積み重ねて、演技に磨きをかけるという発想でいてほしい。そういう努力がいつか必ずになると思うので、だからそれを信じてほしい」

ただ「僕も俳優になろうと思ったことは一度もないんです。大学浪人中、友だちに誘われて行ったオーディションをきっかけに、気が付けば55歳という(笑)。この年で転職できないで続けたんですよ。特に舞台の稽古は99%ついて。だけど、瞬の1%の喜びのために生活や人生をかけてやっています。若い子に言いたいの、青春の思い出しようなんて甘い根性じゃあ役者にはできないというところ。オーディションに来て、給料や休日やテレビに出られるのかを聞くような人は結構ない。本当に芝居が好きかどうかを確かめるために、すべての仕事を死ぬ気で頑張るって、長く続けるしかない。生半可にできないんですよ。だから、こうやってお芝居を目指している人たちのためにドラマが増えてほしい。若い人たちが突っ走って頑張る、世の中の興味をお芝居に向かわせてほしい。そういう意味でも、萩原さんがおっしゃったように、すぐに映画やテレビに出られる、という気持ちには極力ならず、ひとつひとつ基礎を積み重ねて、演技に磨きをかけるという発想でいてほしい。そういう努力がいつか必ずになると思うので、だからそれを信じてほしい」



(左より)神品プロデューサー、小木茂光さん、萩原流行さん、本山由美さん、坂口貞子さん、坂口杏里さん

坂口(貞)「私は小夜の育ての母親役です。由美ちゃんを始め、オーディションで選ばれて参加している若手の方たちが、ものすごくお芝居が好きなんだというのをひしひしと感じています。こんなにお芝居に食らいついて、一生懸命やっている若者があまり見えないのが、私にも少し寂しい気分になりました。すっごく緊張したし、お芝居ってただ演じているだけじゃなくて、本当に好きじゃなきゃいけないんだなって、みなさんに会って感じました」
坂口(杏)「11歳の娘、宮原美樹役の坂口杏里です。可愛らしい感じの子、いつも自分とは違う自分を演じることができて、楽しかったです」

本山&坂口(杏)「はい」
神品「二人はオーディションで選ばれたとき、どう思いましたか？」
本山「パソナの俳優の方のお名前を聞いて、『えーっ、この中で？ 私なんかいんどすか？』でも、せっかくいただいた機会なので、一緒にやることで勉強させてください」
坂口(杏)「私は何度でもオーディションを受けましたが、そのたびにすごく緊張するんですけど、でも見られる嬉しさと選ばれたときのことを考えると、どんな緊張が好きか、というよりは、日々努力だなと思っています」

**有名女優である
母との共演**
神品「坂口貞子さんと杏里さんは実の親子ですが、これが初共演になりますね」
坂口(貞)「はい。正直なところ、母親としては娘が初めて映画に出るわけですか、とても心配でした(笑)。でも、彼女がお芝居をして、いつも自分じゃない自分になったと感じているの、俳優の先輩として、すばらしいことだと思います」
坂口(杏)「親子関係を描いている作品なので、改めて家族って大切だなと思いました。そんな作品で母と初共演として一緒に演じるシーンがあったら、象徴的というか、忘れられない貴重な体験です。とても勉強になりました」



**3作品を終えて
宮原 信音役 風間トオルさん**
「TWILIGHT FILE V」の全3作に、ストーリーテラーとして出演した俳優・風間トオルさん。「演じる側としては、全然違う人物を表現できることはとても楽しかったです」と言うように、それぞれの物語で、まったく設定の違う役柄を演じている。最新作『Familie(ファミーユ)〜フランスパンと私〜』で演じたのは、主人公・風間亮の後輩にあたる、パン屋の店主役。「撮影は、本物のパン屋さんでロケをさせていただきました。一般の方に、本物の店員さんと間違えられてしまい、自分なりに説明してもらいました(笑)。その店に自分とけ込んでいた証拠なので、役者としては嬉しい限りです」役者を目指す人への風間さんからのメッセージは「セリフを言うときは感情が出やすいけれど、セリフのないときこそ感情表現する。そこを考えると、良い演技に繋がると思います」。役者として数々の作品に出演してきた風間さんだからこそその実践的なアドバイスだ。

撮影現場 突撃 インタビュー オーディションで 新人を大抜擢!!



映画『Familie(ファミーユ)〜フランスパンと私〜』
8月29日
東京ウィメンズプラザにて
TWILIGHT FILE V
出演者舞台挨拶&プレミア上映開催!

新人3人が映画デビュー!!
「Familie(ファミーユ)〜フランスパンと私〜」では、新人キャスト3人が大抜擢。彼らが語るオーディションや現場の様子を、役者を目指す人、必読だ。

**オーディションでは
全員にチャンスがある**
まず、応募の動機を教えてください。
小切「高校生の頃から映画に出たいと思うようになり、大学入学生後、雑誌で見たミライのオーディションに応募しました」
唐澤「私も、映画にとても出たかったから応募しました」
オーディションのときのエピソードを教えてください。
小切「選考に残るにつれて、周りは上手い人ばかりになるので、一緒に演技することを楽しめ

ても目がいってしまつたので、自分が選ばれてとは思わなくて。だから、合格の電話がかかってきたときはとても嬉しかったです。台本をもらう日が待ち遠しかったです」
本番に向けて、各自、どんな準備をしましたか？
小切「パチンコ店の店員の役だったので、僕はパチンコ店にほとんど行ったことがなかったので、改めて3箇所くらい行ってみて、店員さんを観察しました」
唐澤「フランスパンを食べるシーンがあるので、どれくらい食べればちょうど良い声の大きさを練習しました」
中村「ただ覚えるだけじゃなくて、感情を込めてセリフを言うように練習しました」

**夢にまで見た
撮影現場を体験して**
撮影現場の様子はどうですか？
唐澤「年下の中村君に「お兄さん」と言うのが恥ずかしかったです。二人で公園で遊ぶシーンはセリフがなくて全部アドリブなんですけど、自分のお姉ちゃんと一緒にいるのを感じて、思い出してやりました」
中村「僕もちゃんと恥ずかしかったです」
小切「カメラに向かって演技をするというところに緊張してしまいました。でも、現場の空気をこのことがききよかったです」
唐澤「大人の方がたくさんいるので、本番ではかたくなっています。家で練習したとおりに本番でやるのが目標です」
ベテランの俳優と共演した感想は？
唐澤「すごく緊張しました!! 萩原さんと一緒に演技をするというところで、ドキドキワクワクでしたし、普通の小学生にはできないいい経験でした。普通の子にはできないいい経験でした。普通の子にはできないいい経験でした」

**夢にまで見た
撮影現場を体験して**
撮影現場の様子はどうですか？
唐澤「年下の中村君に「お兄さん」と言うのが恥ずかしかったです。二人で公園で遊ぶシーンはセリフがなくて全部アドリブなんですけど、自分のお姉ちゃんと一緒にいるのを感じて、思い出してやりました」
中村「僕もちゃんと恥ずかしかったです」
小切「カメラに向かって演技をするというところに緊張してしまいました。でも、現場の空気をこのことがききよかったです」
唐澤「大人の方がたくさんいるので、本番ではかたくなっています。家で練習したとおりに本番でやるのが目標です」
ベテランの俳優と共演した感想は？
唐澤「すごく緊張しました!! 萩原さんと一緒に演技をするというところで、ドキドキワクワクでしたし、普通の小学生にはできないいい経験でした。普通の子にはできないいい経験でした」

MaP MIRAI ACTORS PROMOTION
ミライ・アクターズ・プロモーション®
次回作
映画『Wednesday』
～アナザーワールド～
映画出演者&主題歌アーティスト
オーディションの最終募集! 詳細はP.148へ!